

令和 3 年度第 1 回市民会議アンケート結果

1 今回、あなたが参加した開催方法（書面又は会場）について、感想がありましたら記載してください。

会場開催に参加した方の感想

- ・会場開催では空間にまだ余裕があると思う。人数をもう少し増やしてみてもどうか。
- ・グループ討議のまとめを模造紙にしたことによって、時間がかかってしまったので、PC に入力してデータをまとめるなどにしたらスムーズだったかなと思う。
- ・今回もコロナ禍の開催で、まわりの環境もあり仕方がないと思う。
- ・実際にみなさんの顔を見ながら参加できるのはよかった。初参加の方もいて、続けることの大切さを感じた。
- ・会場開催の方が、お互いに言いたいことなど言える場所だと思う。
- ・密回避の為、広々とした会場であったこと、人数制限をしたことは大変良かったと思う。
- ・自分とは違う障害や機関の方々の意見がうかがえて、とても参考になった。まさに、会場参加ならではの大きなメリットだと思う。
- ・今回から、各グループで話し合った内容を模造紙に書き、写真が撮れるようにするという試みを始めたが、運営側にあまりにも負担が大きすぎるように感じた。各グループのファシリテーターの発表内容を、後日の議事録で共有するというやり方ではどうだろうかと思う。

書面参加した方の感想

- ・書面会議の意見シートを分かりやすく、いくつかのシートに分けて頂ければ、意見を述べやすいと思う。
- ・今回書面会議で参加した最大の理由は、参加人数が決められているので、新しい方の意見を聞いてほしいとの考えがあったため。正直に言えば対面でコミュニケーションを取りながらの方が良いと思う。
- ・対面でいろいろな方のご意見を伺うことは貴重な時間だが、障害者の親、介助者であることから感染予防のため書面会議で参加した。
- ・書面での参加ではあったが、一方的な意見になってしまうので、会場参加は参加者の意見も聞きながらそれぞれの考え方や意見を共有できるので、参加したかった。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する予防策のため、併用はやむを得ないと思う。
- ・仕事その他の時間的制約や、移動の困難があり、更に人数制限もあり、会場に行けない人は多い。書面開催は、会議に参加出来ない人が意見を表明できる手段として必用であり、今後も継続して欲しい。
- ・自分のペースで考えて回答することができてよかった。
- ・平日の日中、仕事で参加できない障害者の意見も反映されるので、よい方法だと思う。

2 今回、人数を制限した会場開催と書面開催とを併催しましたが、この開催方法について、あなたの考えを記載してください。

- ・体調不良により、会場には参加できないとき、書面会議の場があり、意見を入力出来たので、今後、コロナウイルス感染が終息した場合でも、体調不良、天候不順などで、参加できない人たちにも意見を述べる場があると良いと思う。
- ・対面での情報は多くあるが、ただ書面開催のため参加しやすい人もいると思う。今後も併催が良いと思う。
- ・参加者によって選択できるのはそれぞれの業務の都合や感染対策の意識によって変えられるので良かったと思う。会場参加者と書面参加者、両者の意見交換に時間のずれが生じてしまうのが寂しい。
- ・実際の人数の内訳を教えて頂けると良いかと思う。
- ・感染状況にも注意しつつ、会場開催は続けていただきたいと思う。
- ・会場の広さと参加人数、感染防止の点で有効だったと思う。グループ討議のまとめが、模造紙にまとめられていたのが分かりやすく良かった。
- ・引き続き会場での開催をお願いしたい。前々からお願いしているが、企業の方でも参加できるようにしてほしい。
- ・コロナの為に人数制限をしたというのは判るが、今後の開催方法については、より意見を聞くというのが望ましいので、例で言えばZoom会議やオンライン会議方式の方が書面よりは中身の濃い意見が出ると思う。午前、午後と人数を振り分ける形式も考えられる。
- ・今の状況では併用開催の方法しかないのかなと思う。
- ・市民会議は、他市町村には無いさいたま市の誇れる会議だと思う。コロナ収束後にはまた是非会場開催でたくさんの方のお話を伺いたい。
- ・不安を抱えながらも、少しでも前向きに出来る事を考え、工夫と知恵を出し合いながら開催(併催)できたこと良かったと思う。
- ・会場と書面の併用は良い方法だと思う。会議に参加したくても出られない場合もあると思うので、意見を出せる方法があることは大事だと思う。オンラインでの開催もできたらよいと思う。
- ・書面会議は参加者同士で話し合えないというデメリットがあるが、時間をかけて考えることができるというメリットもある。会場参加では、会場が遠くて行けないということもあるだろうから、これからも併用を続けてほしい。
- ・会議録にも意見として記載されていたが、大会議室ではなく、いくつかの小部屋に分けての開催が可能であれば、選択肢の一つではないか。
- ・感染症の状況を見ながらの、その時々判断にゆだねるのは、この状況下では最善の方法だと考える。
- ・基本的には良いと思うが、書面開催では意見は言えるけれど他の参加者の話が聞けないといった欠点もある。書面開催と併用して、特に移動が難しい参加者の参加手段として、zoomによるグループ討議など、オンライン活用を検討して欲しい。
- ・アフターコロナにおいても、参加者の都合で会場参加、書面参加が選べるハイブリッド開催を継続して欲しい。それによってより多様な障害者の意見を反映できると思う。

- ・ 市民会議に登録していても、仕事などの都合で、市民会議に直接参加できない人の意見を、「意見シート」提出で議事録に掲載される正式な意見として取り扱ってもらえるようになったのは、「会議への参加の平等」という点でとても重要。仕事でどうしても参加できず、意見を伝える場がなかった視覚障害者が多いので、この方法は、コロナ収束後も、ぜひ継続していただきたい。それによって、これまであまり出てこなかった、就労している障害のある人の意見やコメントを、施策に反映できるかもしれない。
- ・ 参加方法を選べるので、参加しやすかった。
- ・ 昨年度の3回目も同じ方法だったそうだが、今年度は昨年度の反省を生かして、何か工夫をしたのではないかと思う。どのような工夫を今年度は会場開催に取り入れたのか等あれば知りたい。
- ・ 今回書面会議に参加したため、会場開催の様子がわからないので、写真などをあげてほしい。